

## 議題（3）平成25年度事業及び新美南吉生誕百年記念事業等について

### 1 古典講座

#### （1）講座名

「弥次さん、喜多さんとお伊勢さん参りー『東海道中膝栗毛』を読む」（全7回）

#### （2）講師

奥山景布子（おくやま きょうこ） 時代小説作家。名古屋大学大学院文学研究博士課程修了。文学博士。2007年「平家蟹異聞」で第87回オール読物新人賞受賞。著書 「日本のかみさまたちの物語ーはじめての『古事記』」集英社 2012「キサキの大仏」中央公論社 2012 など。名古屋市在住。

#### （3）開催回数、日時

全7回。 土曜日の原則隔週 午前10時30分～12時（90分）。

9月28日、10月5日・19日、11月2日・16日・30日、12月14日

#### （4）定員 40名まで。高校生以上。

### 2 講演会

#### （1）飯野和好講演会

演題 「おっと、痛快！絵本の読み語りの旅でい！安城の宿パート2」

#### （2）日時 平成25年9月8日（日）午前10時～11時（1時間）

#### （3）講師

飯野和好（いいの かずよし）。絵本作家。イラストレーター。1947年生まれ。代表作「ねぎぼうずのあさたろう」シリーズ。同シリーズその1で第49回小学館児童出版文化賞受賞。

#### （4）定員 150名（子どもOK）

### 3 講演会

#### （1）花井裕一郎講演会

演題 「まちを元気にするわくわく図書館をつくろう！！」

#### （2）講師

花井裕一郎（はない ゆういちろう）。1962年生まれ。小布施町立図書館まちそとテラス前館長。著書に「はなぼん～ワクワク演出マネジメント～」。

#### （3）日時 平成25年10月12日（土） 午後1時30分から

#### （4）場所 昭林公民館 ホール

### 4 （仮称）図書情報館をみんなで考えるワークショップ

#### （1）演題「まちを元気にするわくわく図書館をつくろう！！」

#### （2）ファシリテーター 岡部晋典（おかべ ゆきのり）。大学専任講師。図書情報学。

#### （3）日時 未定。平成25年10月より全3回（予定）。

## 5 新美南吉生誕百年記念事業

### (1) 「新美南吉絵本大賞作品展」及び「小中学校新美南吉読書感想画作品展」

日 時 7月27日（土）～8月2日（金）  
会期中の見学時間は、午前9時から午後8時 最終日のみ午後3時  
場 所 安城市文化センター 3階展示室  
展示作品 入賞作品35点と一次審査通過作品約100点  
さいとうよしみ画『花のき村と盗人たち』（小学館）原画19点  
市内小中学校新美南吉読書感想画作品（各学校各学年代表作品150点）  
その他、入賞10作品DVDを室内で放映。

### (2) 「新美南吉絵本大賞作品展」

※「南吉童話絵本原画展 ごんぎつねの世界」と同時開催

日 時 8月7日（水）午前9時～8月18日（日）午後5時  
会期中の見学時間は、午前9時から午後5時  
8月12日（月）は休館日  
場 所 安城市民ギャラリー C室（1階）  
展示作品 入賞作品35点と一次審査通過作品約100点  
さいとうよしみ画『花のき村と盗人たち』（小学館）原画19点  
渡辺美智雄画『二ひきのかえる』原画14点  
陶芸作品、あんくるバス写真  
デジタルフォトフレーム（15インチ）で入賞10作品DVD放映。  
その他、入賞10作品DVDをロビーで放映。

### (3) 新美南吉ノート復刻再版

題 名 「新美南吉ノート -安城の新美南吉研究-」  
部 数 1,000部  
発行日 平成25年7月1日

### (4) 新美南吉絵本大賞受賞作品刊行

題 名 「二ひきのかえる」  
部 数 15,000部  
発行日 平成25年7月30日

## 6 ブックスタート事業

初 回 平成25年8月7日（水）午後から 以後毎週水曜日午後実施  
対象者 平成25年4月1日以降に生まれた赤ちゃんとその保護者  
場 所 保健センター 1階待合室  
内 容 4か月児健診終了後に1階待合室にて、主旨説明、読み聞かせの実演  
と、子育て支援・図書館利用の案内。引き続き、カード発行と貸出も  
続行する。



# 新美南吉ノート

—安城の新美南吉研究—

B5判 一六〇ページ 定価八〇〇円

## 目次

- 新美南吉ノート —図書館だより— 大野秋紅
- 一 「蝸牛詩碑」考
  - 二 安城高女「生徒詩集」の周辺
  - 三 安城高女「生徒詩集」と南吉の詩
  - 四 級報「雪とひばり」と南吉の詩
  - 五 南吉の手紙・三通 —師弟のつながり—
  - 六 安城高女同僚の新美南吉回想
  - 七 「蝸牛詩碑考」補遺 —発見された記録—
  - 八 南吉の手紙二通 —花と生徒—
  - 九 教え子の見た南吉
  - 一〇 華曼陀羅 —五枚目色紙の周辺—
  - 一一 「安城の下宿」考
  - 一二 南吉三題
  - 一三 南吉の俳句（上）
  - 一四 南吉の俳句（中） —療養句の周辺—
  - 一五 南吉の俳句（下）
  - 一六 美しく短い詩

## 投稿論文

大野秋紅

- 一 「伊豆大島・東京の旅」考
- 二 新美南吉の手紙と色紙 —作家と教師との彷徨—
- 三 師弟の縁
- 四 新美南吉の短詩型文学

## 民声新聞記事

大野秋紅

- 一 文学碑の散歩道 新美南吉の巻
- 二 花と末期の眼 —新美南吉と二枚の短冊の周辺—
- 三 新美南吉自選句集「病中戯吟」の推敲  
—作家としての根性と姿勢—
- 四 新美南吉を世に出した異聖歌と安城
- 五 新美南吉と「兎の耳」
- 六 新美南吉の正月短歌

## 新美南吉ノート —安城高女時代—

都築久義

- 一 年譜 安城高等女学校教諭時代
- 二 田舎児童文学者の戦争感
- 三 資料 私の世界

## 南吉の客観的な理解を

都築久義

南吉の「幻の画帳」発見 —安城高校資料室から三冊—

平成二十五年七月一日刊

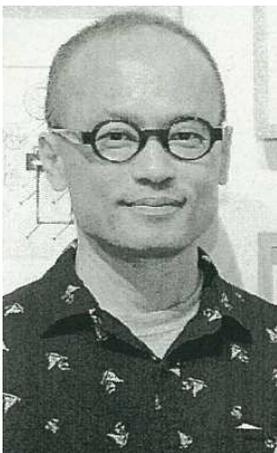


# 第1回新美南吉絵本大賞 受賞作品 刊行

## 二ひきのかえる



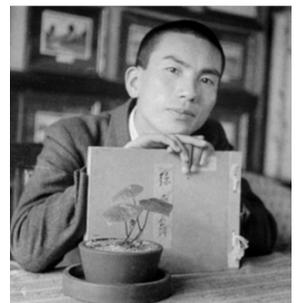
A4変形判 27ページ 定価800円



全国、海外から応募のあった1,412点の中から大賞に選ばれた作品です。南吉童話が素敵な絵と共に新しく生まれかわりました。

絵 渡辺美智雄 (川崎市在住)

イラストレーターとして働いてきた私が、初めて完成させた絵本です。作中の南吉の表現力が見事で、読むほどに絵がポンポン浮かんできました。かえるたちが池に、とぶんとぶんと飛び込む場面は、自分でもお気に入りです。南吉の温かい雰囲気を楽しみました。



文 新美南吉

お求めは 中央図書館、歴史博物館、市役所市政情報コーナー  
カフェ南吉館、日新堂書店、竹内書店、オカダヤ書店、花のき村

## 安城市中央図書館

446-0043 愛知県安城市城南町2丁目10番地3  
TEL0566-76-6111 FAX0566-77-6066